

県連ニュース

2024年1月 NO-558号



『日の出を待つ大山山頂』

滋賀県勤労者山岳連盟

2024年1月号 目次

・リレーエッセイ 新年のあいさつ 友永芳和

<案内>

滋賀労山主催(CSS 企画) イグルー講習会のご案内

ヤマトケイコンさんの講演会

<報告>

初級読図コース

11月26日 4回目(最終回) 「壺笠山」コース

ぐうたら会長のつぶやき

1月～3月 行事予定表

表紙の写真『日の出を待つ大山山頂』

撮影日：2021年2月21日

撮影者：菅 泉（湖南岳友会）



滋賀労山主催（CSS 企画） イグルー講習会のご案内



イグルーと聞いて、雪洞と同じく厳冬期のビバークを思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、イグルーは雪洞と比べて、

- (1) 雪が少なくても作れる
- (2) 斜面でなくとも作れる
- (3) 排雪作業が非常に少なく効率的
- (4) 生き埋めになる心配がほとんどない
- (5) 酸欠になる心配も少ない

など、非常時だけでなく、テントを使わない雪山縦走の実用的な技術として様々な点で優れています。

そして何よりも、作る作業自体が非常に楽しめます。

コツを掴むまでは少し慣れが必要ですが、一度覚えてしまうと雪山山行の幅が大きく広がるでしょう。

そのようなコツを、イグルー山行の第一人者、米山悟氏に伝授していただける、またとないチャンスです。

京都労山のメンバーにも呼びかけて、交流の場も兼ねた楽しく実戦的な講習としたいと思います。

【日時】 2024年2月10日（土）～12日（月祝）

【場所】 乗鞍岳（予定）

【講師】 米山 悟（イグルスキー米山）氏

【定員】 約30名

【参加資格】 労山会員で雪山の経験と歩行技術をお持ちの方

【参加費】 2,000円（+実費）

【持ち物】 雪山宿泊山行装備、スノーショベル、スノーソー（刃渡り30cm以上、伐採・剪定用などでも可）、アバランチビーコン、プローブ（ゾンデ棒）、スノーシューまたはワカン、アイゼン（10本爪以上推奨）、ピッケル

【お問い合わせ】 ot@offtrail.sakura.ne.jp 信森 徹（山の会オフトレイル）

【お申し込み】 shigarosan@gmail.com 滋賀労山宛

タイトル:「イグルー講習会」として、氏名・現住所・電話番号・メールアドレス・生年月日・性別・血液型・加入保険・ココヘリナンバー（お持ちの方）・緊急連絡先・所属会を明記の上お申し込みください。

【締切】 2024年1月31日

～ 講師 米山悟氏より ～

松本市出身 1964年生まれ

テントを持たず積雪を使ってシェルターを作る「イグルー」の冬山登山での実用技術を北大山岳部時代より40年近く継続研究し各地の山岳会、大学、高校山岳部などに講習を行ない、数百人に教えました。イグルーは現場の雪と自分の技で山を渡り歩く自由な登山思想です。雪質を見る目と技を身につけ40分以内で作れば心強い救助・生存の実用技術です。雪山登山の基本技術に推し進めたいです。

お申し込みに当たっての注意事項

※1 米山氏のイグルー指導は10日・11日のみ、12日は簡単なビーコン操作・弱層テストなどの練習を行います。

※2 10日・11日または11日・12日のいずれか2日間のみでもご参加いただけます（イグルーでの宿泊体験を含みますので、必ず連続2日以上でお申し込みください）。

※3 安全な場所で実施しますが、厳冬期2,000mの雪山です。12日は参加されない場合も、上記装備は必携です。購入が難しい場合は、レンタル利用などをご検討ください。

※4 イグルー内は氷点を大きく下回ることはないので、厳冬期シュラフは不要です。

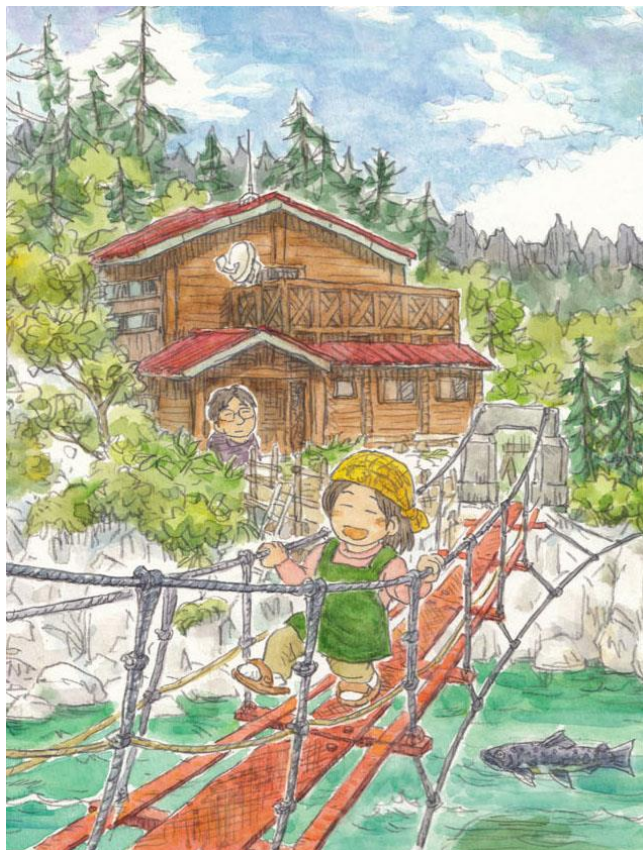
※5 当講習は、雪山に慣れてきてテント泊を視野に入れている程度の方を主な対象としています。参加に当たっては、アイゼン・ワカン等が正しく装着できること、荷物はテント泊よりは軽くなりますが夏山テント泊縦走程度の重量を背負えることが必要です。

※6 雪山での生活技術は講習も兼ねてお伝えしますので、必ずしも雪山泊経験が無くても参加可です。

※7 作成するイグルーの大きさは自由ですが（何個か作ります）、4人用程度より大きな物を作るのは困難です。グループで参加される場合は、食事の分担・宿泊の部屋割り等を予めご相談の上、ご参加ください。

やまとけいこさんの講演会

山小屋の日常や登山者に思うことなどのお話を聞きませんか。



山小屋の実情や裏話、登山者が守るべきマナーなど楽しいお話が聞けます。今後の小屋泊りの参考にもなります。



プロフィール

武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒
山と旅のイラストレーター
太郎平小屋グループ薬師沢小屋従業員
東京都山岳連盟 東京 YCC 所属
富山在住
著書「黒部源流山小屋暮らし」(山と溪谷社)
「蝸牛登山画帖」(山と溪谷社)

主催:滋賀勤労者山岳連盟

日時:2024年4月13日(土曜日)

開場時間:13時10分 開演時間:14時~16時

場所:大津ふれあいプラザ 4F ホール(明日都浜大津)

大津市浜大津 4-1-1

JR 大津駅より徒歩 10分 京阪浜大津駅すぐ

資料代:滋賀労山会員無料 一般参加者 500円

事前申し込み期限: 3月31日(日) (滋賀労山会員は当日受付可)

申込先:滋賀県勤労者山岳連盟 0413 講演会 宛

shigarosan@gmail.com

又はメッセージ 070-9002-3325 へお願いします。

問合せ先窓口: 藤野 kawahaakebono@gmail.com 090-2040-4995

第4回初級読図コース実施報告 2023年度終了

[山行日] 2023年11月26日(日)

[参加者] 講師;金原、スタッフ;5名

受講生;会員4名 一般3名

[コースタイム] 明日都浜大津1Fで座学9:10~11:10、11:25大津港前広場(昼食、装備説明)~びわ湖浜大津駅12:26==穴太駅12:50---14:00壺笠山14:15---14:45東海自然歩道分岐---崇福寺跡---志賀大仏---百穴古墳群---16:20滋賀里駅前(解散)

[報告] 4回目で今年度最終の初級読図コースは講師を含めて13名と3回目よりさらに多くの参加がありました。これまでと同様に座学で地図の見方、記号の意味、等高線と地形の傾斜、磁北線の書き方、コンパスの説明と使い方などを資料、地図をもとに解説しました。質問も多く出て活発な講習会になりました。座学を終えてすぐそばの大津港前広場で昼食をとり、山行装備の説明をしました。その後電車で穴太駅へ移動し、実地山行を始めました。住宅街の端から山道へ入り、古くからの道を登るなかで、コンパスで方向確認、尾根と谷、斜面の地形などを地形図で確認、地図記号などで現在地の確認などを行いました。壺笠山に着いて城跡の地形を見てもらいました。そこから降りはじめ、登山道の歩き方で注意することなどを説明しながら東海自然歩道を降りて、崇福寺跡、志賀大仏、百穴古墳群を経て滋賀里駅前で解散しました。(金原)

[感想]

県連初級読図講習会を終えて

県連初級読図講習会を9月30日と11月26日2回講習を受けさせていただきました。私は9月30日講習を申し込む時点で登山靴以外ザック・ウェア・他必要な装備一切持っていない状態で登山知識もまったくない本当の初心者でした。講習を申し込み、案内を見た時、用意するものとしてハイキング装備?ベースプレートコンパス?ヘッドランプ?すべてが疑問でそもそも読図?言葉さえも初耳な状況でした。それからスタッフのK川さんに教えていただいたり、ネットで調べたり何とか当日ある程度揃えて講習に臨みました。

そして当日、小学校へ初めて登校する児童のような、おどおど感と緊張感、この装備・身なりは妥当なのか、参加メンバーの方とうまくお付き合いできるのかという不安感いろんな感情が溢れていたことを思い出します。そして講習が始まりK原さんを講師として山岳会のスタッフ方、これから登山を始められる一般の方数名おられ、座学で登山の心得・装備・今回のメインである地図読みを学び、山行で実地講習していただきました。座学講習の場ではK原さんをはじめスタッフの方が一回一回丁寧にご指導いただき、実地講習ではK原さんが自分の持ち物紹介、靴紐の結び方、山の歩き方等、読図以外の初歩の講習も行ってもらい初心者から少しステップアップした気持ちになったことを覚えています。2回目もほぼ同じ内容でしたが1回目の復習の意味もあり更に深読みできて今後の山行への自信が付いた気がして参加させていただき本当に良かったと思います。2023年度はこれで講習も終わりとのことですが、もし次回があったとしても参加したい内容でした。最後になりましたが講習をしていただいたK原さんをはじめスタッフの方々には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 **受講会員 F**

[一口感想]

図と磁石を正しく読んで使うのはなかなか難しく、時間がかかりそうです。
今回人数が多かったせいか、実際の山道での説明がもう少し欲しかったです。
手始めに琵琶湖岸で自分が居る地点の確認と周りの山の方角などを見てみようかと思います。

受講生 Y

先日は初めての参加にも関わらず、温かく迎えてくださり
ありがとうございました。

大変丁寧で分かりやすい地図読みのご説明、実習、歴史講習でとても有意義な時間を過ごさせて
頂きました。ありがとうございました。ザックの中身も経験に裏付けされていて、
大変勉強になりました！次回は例会か通常山行にご一緒させて頂きたいです。 受講生 M

お天気にも恵まれ、座学から山歩きまで盛り沢山な 1 日で楽しかったです。
歴史や遺跡の事など全然分からないので、お城跡や古墳のことなど説明していただけて勉強になり
ました。また機会があればよろしく願いいたします。 受講生 O

本日も丁寧にご指導していただき、ありがとうございました。まだまだ地図で現在地を知るのは
難しいですが、コンパスの使い方には少し慣れてきたように思います。実際の地形と地図を読み
比べるのはとてもおもしろくこれからも機会があれば続けたいと思います。またよろしく願い
いたします。 受講会員 N

本日は初級読図コースの講習を受講させていただきありがとうございました。午前中は机上での
地図とコンパスを使った勉強があり午後からは壺笠山に登りながら実践での説明があり地図とル
ートを比べながら歩いたのでとてもわかりやすかったです。いままでは経験者の方について行く
だけで今時は GPS があるからそれで行けば良いと教えられましたのでひとりで登山するときも
簡単なルートの地図と YAMAP を頼りに行っていました。時折、道に迷うこともありました。等
高線の見方が理解できてコンパスが使えるようになれば
事前にもっと予測ができるので安心して安全に登ることができるのでより一層登山が楽しくなる
と思います。紅葉も美しく楽しい勉強会でした。どうもありがとうございました。 受講会員 H



ぐうたら会長のつぶやき

老人になると昔を懐かしむそうです。私も後期高齢者となり、正真正銘の老人となりましたので昔を懐かしみ、古いアルバムを開いて、添えてあるコメントを紹介したいと思います。もう40～50年も昔の文章ですから練れていませんが、その当時のありのままの気持ちだと思います。皆さんに馴染みのない山もあると思いますがご容赦ください。

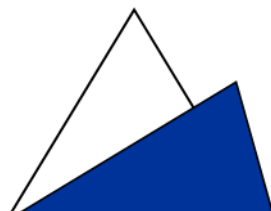
- ① 初めて登った犬ヶ岳、その道辺に風に揺れながら咲いていたコスモス、きれいだなあ～と思わずシャッターを押しました。いつもは見慣れたコスモスに思わず目をとめた。そんな新鮮な心を持っていた山登りのはじめ…。
- ② 「九重」九州で育った山男にとってこの山ほど親しみ、足を運んだ山はないでしょう。私もまた幾たび九重を訪ねたことでしょうか。暑い日差しの照りつける西千里を重いザックにあえぎながら歩いたこと。雪の坊がつるで寒さに震えながら暮れゆく大船の白い山肌を見つめたこと。小雨に煙る道を淡いピンクのミヤマキリシマに見とれつつ家路を急いだ六月の日。思い出は尽きることなく、そしてこれからも数知れぬ思い出と憧れを残すことでしょうか。憧れの九重よ！そのたおやかな山々を巡りさすらう山男に幸せを与えんことを祈る。
- ③ 福岡、熊本、大分の県境、津江の山々を訪ねた山旅でした。クリスマスイブを一人荒れた山小屋で過ごして御前岳へ向かいました。朝霧の流れる杉林の中、ひんやりとした空気が清々しかった山道をたどり、着いた御前岳の山頂は、私一人を待っていてくれました。限りなく広がる山また山の中、そしてマッターホルンにチョッピリ似た渡神岳を望んだ時の胸に高鳴り、それは過ぎし日の山々への憧れの思い出です。また、いつか訪れることでしょうか。
- ④ 「福智山」もう何度山頂に立ったことでしょうか。数え切れぬほど訪れたこの山は、同じ顔を私に見せたことがありません。それがまた無性に嬉しいことです。ただ一人訪れることの多かった四季の福智も、山の会に入会以来何人かの仲間と山頂に立つことが多くなった。いつでも静かだった福智の山頂で、のんびり昼寝をしたあの頃の私の山は果たしてどこに消えたのだろうか。
- ⑤ 「背振」と聞いて思い出すのはビバークの夜の思い出です。椎原峠の朝、雲海に浮かぶ鬼ヶ鼻岩に見とれたこと。小爪峠のビバークは小雨に濡れたみじめな夜でした。そして井原山の山頂で過ごした一夜は未だに忘れえません。フラフラになってようやくたどり着いた山頂で、夕暮れの淋しさに思わず沈みゆく夕陽に叫んだこと。やがて夕陽が沈み、暮れ行く空に星が瞬き始めた。一つまた一つ、空一杯にキラメク空の下で、星たちと一晩中語り明かしたこと。そして夜明けの空の素晴らしかったこと。爽やかな風に追われて去りがたい山頂を、何度も何度も振り返りつつ縦走路をたどったこと。今は懐かしい思い出。

これからの3～4か月手抜きをしてアルバムの文章を紹介したいと思います。悪しからず…。

行事予定

			日未定	山本山(オオワン見物)	ちご
10	ZOOM理事会		3	新春山行(比良・釈迦岳)	OT
			6-7	柵池高原スキー	OT
1			7	比叡山	岳友
			13	例会「坂本～大比叡」	山友
			14	堂満岳～八雲が原	岳友
24	ZOOM理事会		日未定	箱館山	ちご
			28	須磨アルプス	雪稜
			20-21	氷ノ山	岳友
			21	ハイキング部例会「鈴鹿・入道ヶ岳」	山友
			28-2/2	大雪山・十勝岳スキー	OT
			3	登山教室、比良・ホツケ山	山友
			4	霊仙山	岳友
10-12	CSS企画「イグルー講習会」				
2	14	代表者会議・理事会(明日都浜大津)			
			18	第45回比良雪稜会定期総会	雪稜
			18	ハイキング部「天理・円昭寺」	山友会
			23-24	大菩薩嶺	岳友
			25	今津 ザゼンソウ	ちご
3	第48回定期総会 午後		2	銀杏峰	岳友
	午前中「座学・読図」		3	ボンボン山	ちご
3			17	大文字山～皇子山公園	ちご
			16-17	金峰山	岳友
			23	例会、大文字山	山友

[会名略号] 山友: 滋賀山友会、岳友: 湖南岳友会、雪稜: 比良雪稜会、ちご: ちごゆり山歩会
 シャク: シャクナゲ溯行クラブ、OT: 山の会オフトレイル
 スキーネット; 山スキーネット滋賀、CSS: クライミング研究会滋賀 初級: 初級登山教室



2024年2月号の原稿は、1月15日〆切です。

2月号のリレーエッセイと写真の担当は『山の会オフトレイル』です。

原稿の投稿先 宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp

藤野 kawahaakebono@gmail.com

菅 nokomama.2016@gmail.com

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、余白は上下左右 19mm とし、使用する写真は 200KB 以内としてください。

『県連ニュース2024年1月 NO.558号』

発行日：2023年12月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0047

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタースモールオフィス内
メールボックス NO13

ゆうちょ銀行(店名418)

普通 0239956

<https://www.shigarosan.com/>

Email shigarosan@gmail.com

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 菅 泉 藤野 健太郎